

各代議員からの発言

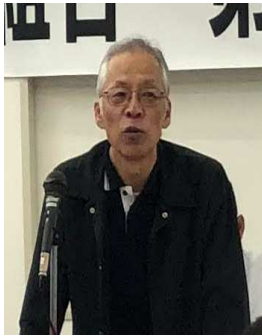


博多 香田代議員

①組織拡大・学習の強化について 国労加入して5年になる。よく加入してメリットはと聞かれるが、増収活動の強要が無くなったことが一番ではないか。青年部の強化が必要であり、そのためには学習が大事である。若者が集まれる学習会の強化をお願いしたい。労働者としてどう生きるのか、古典に学ぶことも大事ではないか。全国的な強みを活かした他労組のやっではないことをやって、相手が話をしたいと思う組織にしてほしい。



鹿兒島 柏木代議員
①組織拡大について、国



③組織拡大について 北九で3名の拡大ができた。様々なつながりを使って拡大できたものである。組織拡大の目はどこにもある。引き続き北九でも拡大できるように全力を挙げていきたい。

②日田彦山線復旧問題では、復旧にむけ協議会が開催されるまでになったがうまくいっていない。28日にはJR九州がBRTと報道があった。災害を理由した路線廃止は許されない立ち場であらためて方針を明らかにすべき。

北九州 畠山代議員
①保線職場では、毎年のように若者が退職している。希望を持って入社したものの、若い社員へ仕事を押し付け、全く違う労働条件に嫌気をさしている。また高齢者の労働条件改善も急務だ。55歳以上の2割賃金カットなど改善を早急にやりきる必要がある。



佐賀 久本代議員

労は自分のためではなく、職場の事、人の為を思って運動を行ってきた。他労組との違いを見せていく必要がある。
②嘱託再雇用の労働条件改善に向けて、賃金の改善を一番に考えてほしい。ダイヤ改正で早出が多くなり仕事ができなくなった。賃金を上げることができないならば、休日増や労働時間など内容の見直しをお願いしたい。

①平和と民主主義を守る闘い 佐賀空港では知事がオスプレイを容認してしまっただ。反対行動を行ったが厳しい状況である。
②運転士の日勤対応について 今無人駅での案内業務をさせているが、営業のことを知らず、聞かれても対応できない。苦情もあがっている。今後どうしていくのか。また、気動車の冷房改善を交渉で早急に詰めてほしい。



長崎 御所代議員

①9日、第46回国鉄原爆死没者慰霊式を行った。今年には2名が新たに合祀され、式典には、関係者・遺族・組合員など一〇〇名以上が集まった。この場を借りてお礼を申し上げる。
②ダイヤ改正の問題について、列車削減により、途中駅で間合い時間が多く発生している。区間廃止のため乗客から苦情が多発している。

③組織拡大について 長崎主催で9月に佐賀地区本部と合同して組織拡大対策会議を開催する。その中で具体的な意思統一を行いたい。



博多 諸永代議員

①組織拡大について 毎月の対策会議は続けているが、中々一歩前に進めていない。問題がどこにあるのか検証して引き続き拡大に向け全力をあげたい。

②運転士見習いが博多では4名がリタイヤした。無理矢理に運転士にさせている現状があるのではないか。強制がないような職場づくりが大事だ。



鹿兒島 黒木代議員

①組織拡大について 鹿兒島ではしばらくできていない。北九の拡大を参考にしながら鹿兒島でも頑張っていきたい。

②嘱託再雇用の賃金、労働条件改善に向けて。年金との関係もあるが、C2級でいくらか必要かと具体的な要求のあり方に着手して欲しい。若手にも共通する問題であると思う。